

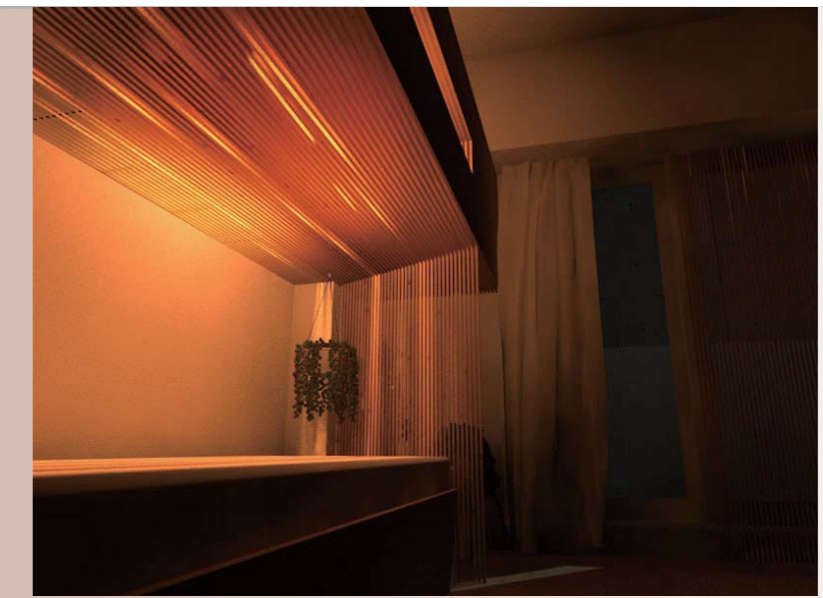
L + L

光と過ごす快適空間

狭い部屋でも、「くつろぐ」空間と「仕事」空間を分け
気持ちの区切りをつけることで、毎日の生活を心地よいものに。



部屋を仕切る方法として、照明を使い空間を分けることを提案。
「くつろぐ」空間では、赤みを帯びた落ち着いた落ち着きのある電球色の光
「仕事」空間では、青みを帯びた白色の白昼色の光を使用しました。
タイトルの2つのLは、LIGHT（光）とLIFE（生活）の頭文字であり、
この2つを合わせることで毎日をより良いものにします。



▲「くつろぎ」空間

ベッドの上の部分は木の薄い壁が規則正しく並んでいて
そこに上から光をあてることで普通の照明とは違った雰囲気を楽しむことができる。
落ち着いた照明の色と木材を使用した心地よいリラックスできる空間

▲ベッド上部分断面図



▲「仕事」空間

白昼色は昼間のような明るさをイメージした色で
光を強く感じるので脳が活性化され集中力が高まる。
仕事や勉強に集中して取り組むことができる空間

▲「仕事」空間の間接照明

木の格子を使った間接照明。
仕事や勉強ではなく読書をした時、
少し休みたいという時に使える空間。



▲「くつろぎ」空間と「仕事」空間の間接照明

